

【大会審判長、主審の特別権限】

引き分けのない本戦決勝試合、引き分けのない延長戦決勝の試合において、大会審判長(成田武治)、各試合場コートの主審は特別権限として、勝負判定、技有、反則(注意)の判定に際して、不適切、問題ありと判断した場合、試合中、判定後に、副審を集め審議をする事ができる。

審議により「判定取り直し」「特別延長戦」を実施する権限を持ちます。

また大会審判長または主審が、審議に必要と判断した場合、主催者運営者、選手セコンド等撮影の動画ビデオ撮影にて確認する場合があります。(選手、セコンドからの要望は不可)

《主な反則行為》 反則は「1回目注意1」、「2回目注意2」、3回目「減点1」、4回目「減点2失格」となります

- ①手技による顔面攻撃 ②背後(後ろを向いている相手)後頭部、脊髄への攻撃
- ③相手の空手着、身体への掴み ④膝前方からの攻撃(関節蹴り) ⑤倒れている相手への攻撃
- ⑥金的(急所)攻撃 ⑦身体を掌底等で押しての攻撃(ワンプッシュ含む)
- ⑧身体を手、腕で掛けてからの攻撃 ⑨主審の「やめ!」試合停止後、試合時間終了後の攻撃
- ⑩主審、副審の注意、指示に従わない行為 暴言
- ⑪礼節が悪い態度 ⑫セコンドの悪い態度(相手選手、審判への罵声等)

上記、反則技、行為は悪質と判断した場合、1回で減点、失格の場合もあります。

ルールを守り、反則をしない事は重要ですが、それ以上に対戦相手への敬意を大事にしましょう。

【組手試合時間】 男女共通

下記カテゴリー混合の場合は上位カテゴリー試合時間採用となります

全てのストライク&ディフェンス	1人ずつ順番に1分間攻撃のみで判定(延長戦無し)
全てのビギナーズファーストクラス、チャレンジマッチ	本戦1分30秒で決着(延長戦無し)
全てのトライマッチ	本戦1分30秒 延長戦1分で完全決着
東日本選手権(幼年、小学生、中学生)	本戦1分30秒 延長戦1分30秒で完全決着
東日本選手権(高校生、一般)高校、一般は混合になる場合があります	本戦2分 延長戦2分で完全決着
シニアマスターズ	本戦3分 延長2分で完全決着

選手呼び出し係はいませんので、各選手は自分の試合の5試合前には出場コート出場コーナー

(ゼッケン番号の少ない方が白コーナー、多い方が赤コーナー)にて待機して下さい。

(型、組手両方出場の選手のゼッケン番号は共通ゼッケン番号のため、上記の限りではありません)